



2021年2月25日
東日本旅客鉄道株式会社
高崎支社

「のって楽しい♪いって楽しい♪両毛線再発見」

～線路は続くよ♪地域をつなぐプロジェクト～
両毛線沿線価値向上に向けた取り組みを推進します

JR東日本高崎支社では、2020年度より両毛線沿線を活性化し、訪れてみたいと思われる路線を目指して、さまざまな職種の社員が結集し組織横断プロジェクト「Mコネクト～線路は続くよ♪地域をつなぐプロジェクト～」をスタートしました。

歴史的に生糸や織物文化により発展した両毛線のブランドイメージを、より多くの方々に知っていただくためにさまざまな施策を推進していきます。

1. 楽しみながらまち歩きをする企画を実施します

「なぞ」を解きながらまち歩きすることで、桐生、足利の歴史を堪能し、新たなまちの魅力を再発見できます。

あなたに「なぞ」は解けるかな？
～**両毛線** なぞときシルクロード～

-  **桐生編** ノコギリ屋根に消えたあの子を探せ
～伝え忘れた君への想い～
-  **足利編** 足利学校なぞとき入学試験

(1) 開催期間

2021年4月1日(木)～6月30日(水)

(2) 開催エリア (選べる2コース)

桐生編 (桐生市内)・足利編 (足利市内)

(3) 参加方法

桐生市・足利市の文化に触れながらまち歩きを楽しんでいただく体験型イベントです。桐生駅・足利駅に設置されている「なぞときシルクロード」のなぞときシートを入手し、なぞが隠されているスポットを巡って、なぞを解いていきます。巡る順番は自由！(最後は駅に戻ってきてね)すべてのなぞが解けるかな。参加費は無料です。

※「なぞときシルクロード」のなぞときシートは4月1日以降、弊社Webサイトにも掲載されます。



イラストはイメージです

(4) プレゼントへの応募

すべての「なぞ」を解き、なぞときシートに付いている応募はがきで応募していただいた方の中から抽選で100名さまに、ご当地の特産品などをプレゼントします。

さらに、桐生編・足利編、両方のなぞを解くと織物製品のセットが当たるコンプリート賞にも自動的にエントリーされます。

※当選発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



群馬の生糸ポディータオル



桐生織金襴コースター



銘仙柄がまロポーチ

※写真は一例です

(5) 応募方法

なぞときシートに付いている応募はがきに記入し、切手を貼ってご応募ください。

※応募の締切は、2021年7月6日（火）当日消印有効です。

(6) その他

詳しくは、JR東日本首都圏の主な駅に3月中旬以降設置する「なぞときシルクロード」のパンフレットをご覧ください。

※パンフレットは配布していない駅もあります。

なぞときシートは4月1日以降、桐生駅・足利駅に設置されます。なお弊社Webサイトにも掲載されます。

2. オリジナルデザインの車両を運行します

生糸や絹織物等の輸送と共に発展してきた両毛線を、多くのお客さまに「両毛線＝織物」のイメージで愛着を感じていただけるよう、現在両毛線で運行されている車両のうち1編成を特別なコンセプトをもった編成として、2021年4月より織物をイメージしたデザインへ変更します。あわせて、沿線3駅の駅名標のデザインについても変更します。

(1) 車両デザインの変更

両毛線ラインカラーである「黄色」、沿線の山々をイメージした「緑色」、織物柄として分かりやすい「矢絣（やがすり）」柄を採用したラインに変更します。

※車両形式 : 211系車両



画像はイメージです

(2) 座席デザインの変更

移動時間を楽しくすごしていただけるよう、座席背面のシートを前橋市、桐生市、栃木市、小山市の市花をモチーフにしたデザインシートに変更します。また、お客さまに座る位置を明確にすることで、車内マナーアップにもつなげていきます。

亀甲柄のマークは両毛線沿線の市の花で作成。

前橋市「バラ」

桐生市「サルビア」

栃木市「アジサイ」

小山市「オモイガワザクラ」



前橋市：バラ



桐生市：サルビア



栃木市：アジサイ



小山市：オモイガワザクラ



イラストはイメージです

(3) 駅名標デザインの変更

伊勢崎駅、桐生駅、足利駅の駅名標を両毛線をイメージした「織物柄」のデザインに順次変更します。

※柱設置型駅名標は2021年2月4日に変更しました。

吊り下げ式駅名標は2021年2月23日に変更しました。



柱設置型駅名標



J R桐生駅（JR ホーム）



J R桐生駅（わたらせ渓谷鐵道ホーム）



J R足利駅

イラストはイメージです

吊り下げ式駅名標